

令和2年度 フロンティア科「出前講座」

- 1 日 時 令和2年7月10日（金） 13:50～15:50（120分）
- 2 講 師 宮崎日日新聞
- 3 演 題 新聞のすすめ
- 4 感想

1年H組 裕元 杏珠

私は新聞を見てよく、これはどうやって誰がいつ作っているのだろうと不思議に思っていました。毎日毎日、朝早くに、何枚ものたくさんの文字が書かれた紙が届くことがすごいと思っていました。また新聞には様々な分野の最新情報が本当に細かくのっていて、機械か何かが作っているのかと思うこともありました。以前放送委員をしていて原稿を書いたりしていたので、文章の構成や語句選びが難しいことを知っています。だから毎日完璧な文章構成と状態で届く新聞について興味がありました。今回は宮崎日日新聞さんの講義を聞くことができてよかったです。やはり新聞社の仕事は大変そうだなと思いました。深夜出勤の方々がいることも少し驚きました。また、新聞ができるうえで様々な人が作成に携わっていることも知りました。本当に部署の数が多いんだなと思いました。話を聞いていると、楽しそうだなという仕事や、少しやってみたいという仕事もありました。今回は新聞についての話はもちろん、その他の話も聞けて、勉強になることもあったし、私はこれから新聞を進んで読もうと思いました。

1年I組 川越 菜央

今回の出前講座では、高校生活でも大人になってから大切なコミュニケーション能力について、様々な視点から物事を見ることについて、今後の社会の課題と私たちが今後求められることについて学ぶことができた。コミュニケーション力を身につけるために、まず物事を知り、その物事について深く考える、そしてそれを他人に伝えることをしないといけない。私は他人に伝えることがあまり得意でないから日々課題で出るコラムの要約や日常の会話で書く、表現する力を身につけようと思った。桃太郎の話は確かに桃太郎側からみるとハッピーエンドだが、鬼側からみると全然ハッピーエンドではないし、そういう見方もできるんだなと思った。このように物事をさまざまな視点から考えることにより誤解やすれ違いが減るのではないかなと思った。また、これからITが発達することにより、今ある仕事がなくなってしまうとよく聞くので、文章を正確に読み解く力やコミュニケーション力を養い、IT社会に対応していけるような人間に、ITにできないような仕事ができる人間になっていこうと思った。

